

11 月 22 日：VN 指数は方向感なく横ばい (VN-Index -0.02%)

- 昨夜の米国市場のあおりを受け、本日の VN 指数は前日終値を大きく上回って寄り付いた。
- 序盤は買い方優勢の動きがみられたが、昨夜まで 2 日続伸していたことから慎重な動きとなって上げ幅を広げることなく推移した。
- 情報技術セクターが堅調であった一方で不動産セクターがさえない動きとなった。そのほかのセクターでは大きな動きは見られなかった。
- 後場に入っても同様の動きとなり、売り方が前日終値付近まで値を戻したところで大引けとなった。
- 151 銘柄が上昇、213 銘柄が下落、89 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から 4.1%増加し、12.7 兆ドンとなった。

VN30 指数もさえない動き (VN-30 -0.05%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、13 銘柄が上昇し、11 銘柄が下落、6 銘柄が変わらずとなった。
- GAS (+1.47%)、TCB (+1.29%)が指数を下支えした。
- 一方で VHM (-3.93%)の下落が全体に大きく影響した。

セクター・個別株の動き

- 投資総額が 670 億ドルとされる南北高速鉄道建設プロジェクトにおいて線路の鉄鋼部分についての開発研究を進めていることが分かり、HPG (+0.97%)は本日上昇した。
- KBC (+0.37%)は子会社がロンアン省の工業団地建設のために大規模な資金調達を行ったことが明らかになり、セクターの動きとは逆行して上昇した。
- 外国人投資家は 310 億ドンを買い越した。HDG (0.00%)、TCB (+1.29%)が買い越しに寄与した一方で、売り越しは SSI (-1.02%)、VCB (+0.11%)に集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。